

茨城県常陸太田市 グリーンふるさと農林漁業体験受入協議会

<http://www.greenful.jp>

問合せ先

窓口名：財団法人 グリーンふるさと振興機構
住所：茨城県常陸太田市木崎二町 937 番 10
TEL：0294-72-2266 FAX：0294-72-7366
E-mail：t-miyata@greenful.jp

アクセス

最寄りの都市：水戸市
集合場所：常陸太田市里美支所駐車場
車の場合：80分
鉄道の場合：80分



受入概要

子ども農山漁村交流プロジェクトの趣旨に則り、常陸太田市、日立市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、城里町、大子町において、小学校の農山漁村長期宿泊体験学習活動の受入を7市町が連帯して行うために、財団法人グリーンふるさと振興機構が中心となり、平成20年3月に「グリーンふるさと農林漁業体験受入協議会」が発足した。

7つの市町が圏域となっていることから、地域の自然や生活に根ざした多種多様な体験プログラムを展開しているのが特徴である。希望する地域では研修会等を実施し、意識の高揚を図っている。また、取り組みを希望する地域には、組織立ち上げに係る助成金による支援も行う予定である。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

東京から約150km圏内に位置し、特急電車や高速道路で2時間程度の場所に位置する。茨城県北7市町を圏域とし、太平洋に面した臨海部から八溝山系の山間部まで、広大な地域広がっている。

本地域は温暖で地震などの自然災害が少なく、安全で安心な地域である。五浦海岸、高戸小浜など日本の渚百選となる海岸や、関東の嵐山といわれる御前山、徳川光圀おお手植えの外大野のしだれ桜、冬には氷瀑する袋田の滝、シガの流れる清流久慈川、各種ハイキングコースが豊富にあり、さらに、植物の南限・北限と呼ばれる多様な植生が展開されている。当協議会では、これらの周辺地域を活かした海や川、山や農地等の自然体験プログラムを提供している。

歴史・文化的な特色

常陸の国を統一した佐竹氏代々の祈願所である佐竹寺（桃山時代の建築様式を今に伝える国の重要文化財）、徳川光圀公の隠居所である西山荘、江戸時代の豪農「穂積家住宅」、松岡藩の城下町として石畳の路と武家屋敷が残るお屋敷通り、日本初の女性教師「黒沢止幾子」生家、日本近代美術の祖である岡倉天心が建設した六角堂等の歴史的文化建造物を有するほか、岡倉天心や横山大観らの美術品等を展示する茨城県天心記念五浦美術館、七つの子などの作曲家野口雨情記念館、近代工業の発展の様子がわかりやすく展示されている日鉱記念館、「いつでも夢を」などの作曲家吉田正音楽記念館等の展示施設がある。

農林水産業の特色

【農業】茨城県の農業就業人口は全国第1位、生産額は全国第4位となっており、県北は、米・そば・野菜・豚・鶏卵・こんにゃくなど多彩な生産物に恵まれた地域である。年平均気温は、13～14.5度の範囲で温暖であり、このため本県には南限の作物や北限の作物が数多く栽培されている。また地域の気象条件を生かした特産品があり、県北では大子のりんごや奥久慈の茶などが有名である。

【林業】県の北西部、常陸大宮市、大子町は八溝山地と久慈山地の山々からなる、平均標高が200m～300mの自然的条件に恵まれた地域である。古くからスギ・ヒノキを中心に植林が進められ、特に八溝山系生育に適し、八溝山付近は八溝林業地として有名。また、きのご類をはじめとする特用林産物の生産に積極的に取り組んでいる地域でもある。特にシイタケは全国有数の産地である。

【漁業】茨城県の海岸線は南北190kmに及び漁港にも恵まれている。県北には3つの漁業基地があり、中でも、鮫鯨で有名な平潟港、しらす漁の盛んな大津港、多彩な魚があがる久慈浜港が有名である。茨城県の漁獲生産量は全国第3位であり、県北3港で約45%を占める。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	農林漁家以外の民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	116	9	18	50	8
最大宿泊可能人数	197	121	400	3500	500
料金	6000円-7000円	3000円-10000円	6000-10000円	5000円-20000円	250円-10000円

おすすめ体験学習プログラム

シラス漁、セリ見学（所要時間 120 分・漁業体験）

【期間】

通年

備考：北茨城市都市交流推進協議会

【内容】

漁船に乗りシラス漁を体験。獲れたてのシラスを味わい、漁法や魚、調理法について学ぶ。また、市場のセリを見学する。



餅つき、バーベキュー（所要時間 120 分・食の体験）

【期間】

通年

備考：北茨城市田舎ぐらし体験交流協議会

【内容】

地元農家で作ったもち米を使い、実際に杵と臼を用いて昔ながらの手法で餅つきを体験する。別メニューとしてバーベキューも可能。



燻製体験（所要時間 120 分・食の体験）

【期間】

通年

備考：里美ふれあい館

【内容】

萱草屋根の時代には、囲炉裏の煙でいぶすことで、食物を長期保存した。周辺地域で採ることができる岩魚やヤマメのほかチーズなどを燻製にする。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	教育体験旅行 里山の暮らしを知ろう	実施時期	5月下旬～8月下旬まで
ねらい	集団行動や道具を使うことで、規範意識を高め、わらからわら草履を作ることで、リサイクルなどの環境意識を高める学習を行う。また、自然の中の探索では、自然や科学に対する知識を深め、街並み探訪では歴史を実際に体験しながら学ぶことができる。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前		
	午後	オリエンテーション	日程の説明やグループ分け等
2日目	宿泊	農家民泊（常陸太田市）	
	午前	農業体験	各民泊農家での農作業体験をする。
	午後	農業体験	引き続き、各民泊農家での農作業体験をする。
	宿泊	農家民泊または茨城県立西山研修所（常陸太田市）	
3日目	午前	里美ふれあい館でわら縄もじり	地域住民が講師となってわら縄を作成する。
	午後	わら草履作り	午前中に作成した縄で、わら草履を作る。
	宿泊	茨城県立西山研修所	
4日目	午前	自然体験（滝巡り）	旧里美村内の自然を散策する。
	午後	自然体験（竹の伐採）	竹とんぼを作るための竹を伐採する。
	宿泊	茨城県立西山研修所	
5日目	午前	そば打ち体験	茨城県北の特産品のそばを自分たちで作って食する。
	午後	竹筒で飛ばす竹とんぼづくり	採取した竹を加工して竹コプターをつくり広場で飛ばす。
	宿泊	松前町交流里づくり館	
6日目	午前	常陸太田市街並み探訪	徳川光圀の隠居所である西山荘・江戸時代から続く醤油屋など、歴史的背景とあわせた街並み探訪。
	午後	常陸太田市街並み探訪	徳川光圀の隠居所である西山荘・江戸時代から続く醤油屋など、歴史的背景とあわせた街並み探訪。
	宿泊	茨城県立西山研修所	
7日目	午前		反省会・各地へ出発

群馬県上野村 上野村長期宿泊体験協議会

<http://www.uenomura.ne.jp/>

問合せ先

窓口名：株式会社上野振興公社
住所：群馬県上野村大字川和 11
TEL：0274-59-2111 FAX：0274-59-2470
E-mail：tsuchiya-m@vill.ueno.gunma.jp

アクセス

最寄りの都市：前橋市
集合場所：上野村体験学習館駐車場
車の場合：70分
鉄道の場合：140分



受入概要

上野村では、地域の基幹産業を都市部との観光体験交流産業と捉え、その振興を推進してきた。都市部との交流は、村内資質の横断的な連携により成されるとして、交流事業に関わる全組織により「上野村長期宿泊体験協議会」を平成 20 年度に設置。都市交流実施における多数の実績を持つ組織があり、長期宿泊体験においても、本協議会の方針に基づき全面的な推進協力体制を作っている。

上野村の立村方針である「助け合い、共に生きる精神」と、少人数で行き届いた教育指導、山村留学による成果を基に、村民との温かい交流、都会では味わう事の出来ない体験プログラムを提供し、協調性や忍耐力、自立心など、逞しく生きぬくための「生きる力」を培い、子どもたちの生涯の思い出を作る活動の取り組みを行っている。

受け入れ地域の特色

自然・地理的な特色

上野村は、群馬県の西南端に位置し、四方に 1,000~2,000m級の山々が座し、村域の 90%以上が森林地帯に覆われた典型的な山村環境を形成している。土地利用では、村土の 94.5%の 17,199ha が森林で、農用地は 0.6%の 109ha、宅地は 0.2%の 43ha となっている。平地部は、近隣他山間部よりも多く、河川も緩やかな流相である。地域の中央を流れる神流川は、関東地方の水資源をまかなう利根川水系に属し、清らかで豊かな流れは、上流部でサケ科の渓流魚であるイワナやヤマメを育み、下流部ではカジカの繁殖が見られる。

村域の地質の大部分は秩父古生層で、神流川右岸には、古白亜紀層が帯状に存在し、石灰岩の露出も見られ、川和地区には不二洞（関東一・県指定天然記念物）、檜原地区には生犬穴（国指定天然記念物）などの大型の鍾乳洞が形成されている。

歴史・文化的な特色

上野村の歴史は古く、村域の中央を流れる神流川の周辺からは縄文土器や石器類の出土が見られる。1,603 年の開幕に伴い、幕府直轄の天領として代官支配地となり、現在、天領下時代の大庄屋「旧黒澤家住宅」が国指定重要文化財として保存されている。1,631 年、佐久地方からの米穀移入が行われていた十石峠の麓に「白井関所」が設けられ、現在も山中・上山郷十石市が開催されている。また、神楽や獅子舞い、地芝居などの地域毎の神事や行事、生活環境や食文化に、歴史ある習俗が色濃く継承されている。「2007 森林フォーラム in 上野村」など、山村文化や自然環境をテーマにした文化事業や「かじかの里サマーフェスティバル」「ふるさと祭り」「田舎のしんせき村」など、多彩なイベントも展開されている。

農林水産業の特色

上野村は総面積の 94 パーセントが森林に覆われ、平成の名水 100 選に指定されている神流川(利根川水系)の源流流域に位置する。山林は急峻な地形がほとんどで、大規模農場は発達せず、昭和 30 年代後半頃までこんなにやう農家が盛んだった。その転換期以降は、きのこの栽培や、小規模ながらネギ、ヤーコン、プラム、りんご等の作物を栽培している。

林業に目を向けると、昭和 40 年後半頃より輸入材等の影響を受け、規模は縮小した。現在では、木工製品の加工業が盛んに行われている。

これらの産業はいずれも規模は小さいものの、丁寧に作られた加工品や農作物は流通に流されず、付加価値の高い製品を生み出している。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	農林漁家以外の民宿	公設の宿泊施設
軒数	8	7	4	3
最大宿泊可能人数	60	210	67	250
料金	5000 円-	6900 円-	6900-	78750 円-

おすすめ体験学習プログラム

十石街道・歴史ウォーク(環境測定) (所要時間 240 分・自然・環境体験)

【期間】

4月中旬～11月下旬まで

【内容】

自然の中で歴史を学びながら散策することにより、地域の成り立ち等の歴史、文化、芸能等は学ぶことができる。



中之沢・源流プログラム

野菜(じゃがいも等)の植え付け(所要時間 240 分・農業体験)

【期間】

3月上旬～4月中旬まで

5月中旬～6月上旬まで

【内容】

畑で「じゃがいも」や「さつまいも」の種芋を植え付ける。実施可能期間は「じゃがいも」3月上旬～4月中旬、「さつまいも」5月中旬～6月上旬。

古民家訪問(所要時間 75 分・ふるさと体験)

【期間】

通年

【内容】

村内には、現代の住宅とは異なる古民家が多く点在する。博物館ではなく、実際に住んでいる住居を訪れ、その生活の様子についてお話を聞く。

昔話とおやきづくり(田舎まんじゅう) (所要時間 100 分・食の体験)

【期間】

通年

【内容】

群馬県の冬の感想した気候は小麦の生産に適し、古くから生産されていた田舎まんじゅうづくりを通して、地域の歴史、伝統について学ぶ。

鍾乳洞見学(所要時間 70 分・自然・環境体験)

【期間】

通年

【内容】

天然記念物にもなっている関東一とされる、鍾乳洞見学。専門の案内人が各ポイントで解説を行う。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	上野村創造の森と名水の中で5感を磨くプラン	実施時期	通年
ねらい	本プランの目的は「友達との心に残る思い出作りと夢」を体験していただくことである。滞在中の様々な体験や活動を通してコミュニケーション体験を行うことで、「精神面」を養う。また、友達と協力して体験プログラムを進めることで、協調性を磨く。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	集合	
	午後	『神流川流域での水質調査と生物調査と川遊び』	神流川での水質調査及び生物観察。その後、きれいな川で水遊び。
	宿泊	公営宿泊施設	
2日目	午前	『地図とコンパスで里山探検散策』	4人ひと組になり地図とコンパスを利用し、里山を散策。(活動中には、村人との出会いもある。)
	午後	『ネイチャー俳句』	自然豊かな村の風景を『俳句』で表現。作品をサークルになり声を出し発表する。
	宿泊	農林家民宿	
3日目	午前	『自然に還る・絵画』	自然界から集めたもので、山やグラウンドをキャンパスに絵画を作成する。木々、葉、土を集めた素材で作成後はデジタルで写真撮影後、元に戻す。
	午後	『田舎の人々と出会おう』	都市部よりも、さらに少子高齢化が進む地域集落の現状や田舎の子供達や老人達との交流から、自然の中で生きる素晴らしさや地域の問題を実感する。
	宿泊	農林家民宿	
4日目	午前	『夢・田舎の仕事体験』	上野村に存在する職業を体験。(ローカルテレビ局、ホテル等の観光産業、お土産屋、農家、きのご産業)
	午後	『伝統食から学ぶ』	地域の伝統食である『すいとん』を村の方たちと一緒に作りいただく。
	宿泊	農林家民宿	
5日目	午前	『コミュニケーション・野外地域活動』	自然を大切にする心とお世話になった村へのお礼を兼ね『社会奉仕活動』として清掃活動を行う。
	午後	帰宅	

群馬県片品村 片品村受入地域協議会

<http://kata-tour.co.jp/>

問合せ先

窓口名：片品村振興公社（株）
住所：群馬県片品村鎌田 4085
TEL：0278-25-4644 FAX：0278-25-4646
E-mail：kata-tour@nifty.com

アクセス

最寄りの都市：沼田市
集合場所：尾瀬わくわく体験郷
車の場合：180分
鉄道の場合：60分



受入概要

片品村では、20年以上前から農業と観光を柱に行政・農協・村民が協力してグリーンツーリズムに取り組んでいる。

国立公園の湿原「尾瀬」、湖水美の「丸沼・菅沼」、関東以北で最高峰の「白根山」、キャンプ地の「武尊山」、そして7つのスキー場に8つの温泉と、観光資源に恵まれた周辺環境を活かし、元食材を使用した「食べる体験」、地元の人から学ぶ「作る体験」、農業の大切さを学ぶ「収穫体験」等、豊富な体験プログラムを提供している。なお、オーダーメイドで体験プログラムを調整できるほか、年間通じて体験プログラムを設定している。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

群馬県利根郡片品村は群馬県の東北端にあつて、新潟県、福島県、栃木県に隣接している。周囲を至仏山、武尊山、日光白根山などの標高2,000m以上の高い山に囲まれた山間の村である。そのため、居住地域は村の南部に集中している。村の中央を片品川とその支流が縦断し、河岸段丘には農地が広がっている。

世界的に名高い湿原・尾瀬、湖水美の丸沼・菅沼、関東以北で最高峰の白根山、キャンプ地の武尊山、そして8つのスキー場に8つの温泉と、非常に豊富な観光資源に恵まれているのが、片品村の特徴である。



歴史・文化的な特色

片品村は、数多くの文化財を有している。天然記念物、重要文化財などに指定されている遺産から、人知れず佇む石仏まで、それぞれの時代で貴重な役割を果たしてきた歴史・文化的資源に出会うことができる。これらの文化遺産に込められた先人たちの想いを知り、後代に伝えることを、片品村に住む村民の責任だとし、保全活動に取り組んでいる。例：武尊牧場のレンゲツツジ・武尊神社・猿追い祭り・郷倉・丸沼堰堤

農林水産業の特色

片品村では、昼と夜の温度差の大きい内陸型の気候条件や、大消費地に近い地理的条件などの立地を生かした農業が行われている。片品村農協では夏野菜（高原野菜）の生産地として産地作りに取り組んでおり、中心となる品目として、大根、トマト、レタス、とうもろこしなどが挙げられる。このうち大根とトマトは群馬県のブランド産地に指定されている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民宿	ホテル・旅館
軒数	190	77
最大宿泊可能人数	3300	5000
料金	6000円-	7500円-

おすすめ体験学習プログラム

①田植え ②稲刈り体験（所要時間 120分・農業体験）

【期間】

5月中旬～6月上旬まで

10月中旬～10月下旬まで

備考：気象事情により前後する可能性があります。

【内容】

地元の農家の指導で、初夏の田植え体験。秋には鎌を持って手刈りによる稲刈り、はざ掛けまでを体験する。コンバインダーを利用した稲刈り体験も可能。



ネイチャーゲーム ①春夏秋 ②冬（所要時間 120分・自然・環境体験）

【期間】

5月上旬～11月下旬まで

12月下旬～4月上旬まで

【内容】

地元のインストラクターがレクチャーし、聴診器を使用しブナの樹中の音を聴いたり、目隠しをしたゲームをする。冬季は「かんじき」を履いて雪上を散策。



稲わら細工体験（所要時間 120分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

片品では、稲わらを使ったしめ縄作りなどを生活の一部として行ってきた。稲わらを使い、名人の指導でわら細工に挑戦する。

手づくりコンニャク体験（所要時間 120分・食の体験）

【期間】

11月下旬～5月下旬まで

【内容】

上州特産であるこんにゃくを、蒟蒻芋から作る。手づくりのものを食べることの大切さや地域の食文化について学ぶ。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	群馬県 片品村 五感で旬を知る 春	実施時期	5月下旬～7月上旬まで
ねらい	日本の農村の姿を見て、実際に活動することにより、わが国にとって不可欠な農業に対する意識を高める。自然の中での活動をすることで、自然・生物について図鑑やネットで知る知識だけでなく知恵として習得する。食やものづくり体験を通じて、村の名人から技術と匠の精神を学び、知識を超えた知恵を習得する。初対面の片品の人と出会い、協働することで、規範意識・思いやりの心を醸成し、道徳の精神を養う。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	開校式	受入農家民宿との対面、オリエンテーション
	午後	収穫体験（夕食の食材）	アスパラガス・大根・山菜等を収穫。
	宿泊	農家民宿（ホームステイ形式）	お宿の方とお話する。
2日目	午前	食の体験	すいとん・うどん等を作る。
	午後	もの作り体験	竹細工・わら細工・木工教室・陶芸教室等を体験する。
3日目	宿泊	農家民宿（ホームステイ形式）	上毛かるたや、ぐんま食育かるたで遊ぶ。
	午前	自然散策	尾瀬ヶ原・武尊牧場・丸沼高原等を散策。
	午後	自然散策	尾瀬ヶ原・武尊牧場・丸沼高原等を散策。
4日目	宿泊	農家民宿（ホームステイ形式）	
	午前	農作業体験	野菜の種まき・芽かき・草刈り・水やり等を体験する。
	午後	食体験・絵手紙書き	おやき作りなどの食の体験。その後、絵はがきを書く。
5日目	宿泊	農家民宿（ホームステイ形式）	感謝の会準備。
	午前	清掃・お手伝い・帰宅準備・感謝の会・閉校式	

群馬県みなかみ町
みなかみ町教育旅行協議会

<http://www.enjoy-minakami.jp/taiken/index.html>

問合せ先

窓口名：みなかみ町教育旅行協議会
住所：群馬県みなかみ町月夜野 1744-1
TEL：0278-62-3450 FAX：0278-72-8189
E-mail：taiken@enjoy-minakami.jp

アクセス

最寄りの都市：東京
集合場所：みなかみ町/道の駅水上 水紀行館
車の場合：90分
鉄道の場合：90分



受入概要

「みなかみ町教育旅行協議会」は、みなかみ町が中心となって、宿泊施設、農業・林業従事者、観光施設、アウトドア事業者地元企業等の多種多様な業種で構成され、農山村漁村交流プロジェクトの誘致、全体調整、プログラム開発、人材育成等をさまざまな連携のもと行っている。みなかみ町での学校を対象とした教育旅行は10年以上の実績を持ち、首都圏を中心に多くの学校を対象とした、プログラム提供を行っている。

「自然と人が共にあること」をテーマに掲げ、みなかみ町をそのまま体験できるよう、多くのプログラムをしている。農業や林業のプログラムは、実際に生業にしている町民が指導を行う。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

町の大部分は山地で、上信越高原国立公園を擁する広大な森林を有する。標高は、300mから2,000m級の山岳にまでわたる。北にそびえ立つ谷川連峰の山々は、谷川岳をはじめとする多くの山岳観光資源に恵まれ、山麓には水上温泉郷・猿ヶ京三国温泉郷及び上牧温泉等、多数の温泉地がある。また、本町の南部中央で合流する利根川と赤谷川の上流には5つのダムがあり、下流域の生命と経済活動を支える重要な役割を担うとともに、四季折々の美しい清流の景観をみせている。



歴史・文化的な特色

みなかみ町は、矢瀬遺跡など縄文時代の遺跡が確認されており、古くから人々が生活していた。この地域には、上毛5偉人の塩原太助や、杉木茂左衛門を輩出し、その公共事業への精神や、正義の心は、今も語り継がれている。明治・大正・昭和と時代も移り変わると、近代化とともに物的・人的交流が盛んになり、谷川連峰など美しい自然環境と豊富な温泉資源に恵まれていることから数多くの文人墨客が訪れた。自然と旅と酒を愛した歌人「若山牧水」は、利根川源流を訪ねた旅について、紀行文集「みなかみ紀行」に記した。また、この時代を情熱的に生きた与謝野晶子も水上温泉や三国路を訪れ、山の秋の風情を満喫し、いくつもの歌を詠んでいる。

農林水産業の特色

みなかみ町の土地利用の状況は、780km²のうち、山林が約75%(612.17km²)、可住地が約25%(168.74km²)となっており、可住地のうち耕地面積は18.40km²で全体のわずか2.4%である。農用地は、利根川と赤谷川によって形成された河岸段丘上に展開し、地力は比較的肥沃で、水田、野菜、桑園、牧草地として利用されている。主要作目は、畜産・果樹・野菜・米と多岐にわたっているが、近年の傾向として、観光用果樹・施設園芸などの取り組みが多く見られる。水稲と養蚕を中心とした複合経営が一般的だったが、養蚕事業は、生糸や絹織物の需要が減ったことや海外との価格競争に負けたことなどから衰退の一途をたどり、いまでは養蚕農家はほとんどなくなってきた。それに代わって首都圏からのアクセスの良さや豊富な観光資源に恵まれていることから、果樹や施設野菜など観光農業へ経営転換し、農産物直売所などを利用し直接販売する農家が増えつつある。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	ホテル・旅館・民宿
軒数	30	186
最大宿泊可能人数	150	13280
料金	5500円-	7000円-

おすすめ体験学習プログラム

稲刈り体験（米 1 キロ付）（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

10月上旬～10月下旬まで

【内容】

地元農家の協力のもと、コンバインを使った稲刈りの見学、手での稲刈り、はぜ作り、脱穀等を体験する。利根川の源流の町で美しい水により、おいしい米が出来ることを伝える。

森林環境学習プログラム（所要時間 360 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

みなかみの原生の森の中をトレッキングしながら、森の仕組みや森の恵みについて、体験型で楽しみながら学ぶ。

雪国体験（所要時間 150 分・ふるさと体験）

【期間】

1月上旬～3月下旬まで

【内容】

雪国であるみなかみで、雪かき体験、かまくら作り、雪国での生活の話し等を実施。雪国での生活の良さや大変さについて理解を深める。

田舎料理づくり（所要時間 60 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

地元農家の指導のもと、みなかみに伝わる郷土料理をつくり、試食する。料理のできたいわれや昔話を交えながら、共同調理を行う。



受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	まるごとみなかみ 農山村体験交流グリーンプラン	実施時期	4月上旬～12月中旬まで
ねらい	みなかみの自然・人・生活文化を活かし「山」「川」「里」をテーマに、農家・アウトドア従事者・宿泊施設・体験工房等を存分に活かし、農山村を丸ごと体験してもらう。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	出発移動	みなかみの概要説明、緊張をほぐすレクリエーション(バス)
	午後	開会式、アドベンチャー教育プログラム	開会式：ガイダンス、活動の概要説明 アドベンチャー教育プログラム：全身を使って、みんなで力を合わせることの大切さを学ぶ。
	宿泊	町内のホテル、旅館等の宿泊施設	みなかみの民話
2日目	午前	淡水魚観察	利根川上流部みなかみに生息する魚の観察をしながら、水辺環境について学ぶ。
	午後	ラフティング	利根川上流部の川下り体験。水辺環境の学習とチームワークの構築を行う。
	宿泊	町内のホテル、旅館等の宿泊施設	利根川の話し・振り返り
3日目	午前	パラグライダー	パラグライダー体験の実施。目線を変えて、里山を体験する。
	午後	林業体験	植林地で、実際に、下草狩り・木の間伐・枝打ち等の森林整備作業を行う。
	宿泊	町内のホテル、旅館等の宿泊施設	中間振り返り・農家民宿ガイダンス
4日目	午前	そば・うどん打ち体験	地元で取れたそば粉・小麦を使い、そば・うどん打ちを行い、試食をする。
	午後	農家民泊・農家民宿での活動	実際に農家が普段している生活を家族の1員として体験。
	宿泊	農家民泊・農家民宿	みなかみ地方の昔話
5日目	午前	農家民泊・農家民宿での活動	実際に農家が普段している生活を家族の1員として体験。
	午後	閉会式	受け入れ農家とのお別れ会と今回の活動の振り返り。

埼玉県秩父市 秩父市子ども農山村交流協議会

<http://www.city.chichibu.lg.jp>

問合せ先

窓口名：秩父市役所
住所：埼玉県秩父市熊木町 8-15
TEL：0494-22-2823 FAX：0494-24-7272
E-mail：furusato@city.chichibu.lg.jp

アクセス

最寄りの都市：池袋
集合場所：秩父ミュージズパークスポーツの森
車の場合：120分
鉄道の場合：100分



受入概要

子ども農山村交流プロジェクトの趣旨に則り、秩父市において、里山交流、小学校の農山村長期宿泊体験活動の受入を、地域連携して行うために、平成 20 年 2 月に「秩父市子ども農山村交流協議会」が発足した。

当協議会では、秩父市内の豊かな農山村環境や恵まれた地域資源を活用し、秩父ならではの体験活動を提供している。子どもたちの間に仲間意識を養い、新しいことにチャレンジするきっかけを創り、集団活動を通じて人格形成を手助けできるような豊富な体験プログラムを有している。県内をはじめ県外の小学校も広域的に受け入れる姿勢を持っており、首都圏を中心に、小学校に対してホームページなどを通じた PR 活動を行っている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

秩父市は、埼玉県の西部にあり、北は群馬県、西は長野県、南は山梨県および東京都に接し、東京都心まで約 60～80km 圏、県都さいたま市までは約 50～70km 圏に位置している。面積は 577.69 平方キロメートルで、埼玉県全体(3,797.25 平方キロメートル)の約 15%を占める。また、山地が多いため面積の約 87%は森林であり、埼玉県の森林の約 40%を占めている。

地域のほとんどは秩父多摩甲斐国立公園の区域や武甲・西秩父といった県立自然公園の区域に指定されており、自然環境に恵まれている。また、甲武信ヶ岳に源を発する荒川が地域の中央を流れ、秩父湖、秩父さくら湖などのダム湖を形成している。秩父地域のダム本体はすべて秩父市にある。

歴史・文化的な特色

秩父夜祭、龍勢まつりをはじめとした、300 以上の祭りを有する、祭りの宝庫である。また、かつては秩父銘仙などの織物業が栄えていたことでも有名である。登録有形文化財に指定されている建物も多く、その家並みを生かしたまちづくり事業が行われている。さらには、近年新しい文化芸術の創造に力を入れ、市民ミュージカルの創作上演、市民オーケストラの育成など、市民とともに環境観光文化都市づくりに励んでいる。

農林水産業の特色

秩父地域の農業は、果樹を中心とした観光農業、農産加工などの高付加価値農業のほか、地域の特性を活かした野菜、工芸作物、花き、畜産が主要な作目として生産され、34 億 4 千万円(平成 17 年)の農業産出額がある。

また、自然景観、史跡、伝統文化、地域特産物などの観光資源に恵まれ、年間約 950 万人(平成 19 年、東秩父村を含む)観光客が訪れることから、ぶどう、いちごを中心とした「観光農園村」や、体験交流施設「みどりの村」、「ふれあいの里」などを整備し、地域農業の活性化を進めている。

また、今後の農業を担う青年農業者をはじめ、地域農業の重要な担い手である女性や高齢者が、いきいきと活動するため、農村女性アドバイザー、女性農業機械オペレータ、ふるさとの味伝承士、高齢者生産集団などの育成も進められている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	16	16	5
最大宿泊可能人数	160	751	977
料金	6000 円-7000 円	-	-

おすすめ体験学習プログラム

鉄砲堰体験（所要時間 120 分・林業体験）

【期間】

5月上旬～11月下旬まで

【内容】

以前この地域で、川の水を利用して木材の運搬を行うために作られた「鉄砲堰」に、水を貯めるために行う作業と放水の様子を見学する。

そばの播種体験（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

4月中旬～4月下旬まで、8月中旬～8月下旬まで

【内容】

昔ながらの播種器（通称ゴンベ）を使用し播種体験と、トラクター（播種機を付けた）による播種を体験する。

郷土食づくり（所要時間 180 分・食の体験）

【期間】

通年

備考：石間交流学習館(石間地域住民)

【内容】

水車を使用したそば挽き体験。そば打ち体験。そばかりんとう作り。冷汁うどん作り。おっ切り込みうどん作り。たらし焼き作り。もろこしまんじゅう作り。栗の渋皮煮作り。

わら細工体験（所要時間 180 分・クラフト体験）

【期間】

通年

備考：埼玉県立大滝げんきプラザ

【内容】

昔から地域で作られ使われていたわら細工（かめ、花差し、銅敷き）を体験する。

アウトドア体験（所要時間 240 分・自然・環境体験）

【期間】

6月中旬～8月下旬まで

【内容】

アウトドア拠点施設である「元気村」周辺施設を活用したアウトドア体験教室(カヌー、フィッシング、フリークライミング、ツーリング、ナイトハイク)と、県営ダム施設の見学、バイオマス発電所施設の見学・管理体験の実施。



受入時の安全対策（作成中）

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	郷土文化、食・工芸・農業体験を通じたふれあい交流	実施時期	4月下旬～10月下旬まで
ねらい	里山の自然の中で、昔ながらの郷土料理・工芸や、農産物の摘み取りから加工までを体験し、つくる楽しみ・喜びを感じてもらおう。 また、郷土の歴史である秩父事件の資料館等を見学してもらい、歴史背景に触れてもらう。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	開村式	受入指導者との対面、オリエンテーション 秩父事件資料展示館見学。案内人講演。
	午後	秩父事件を訪ねる	
	宿泊	公的宿泊施設「吉田元気村」	
2日目	午前	郷土食づくり体験	そば挽き、そば・うどん打ちを行い、自分でつくったものを昼食とする。 わらぞうり作り体験。
	午後	郷土工芸体験	
	宿泊	公的宿泊施設「吉田元気村」又は、民間宿泊施設「民宿等」	
3日目	午前	いちご摘み取り体験	いちごの摘み取り、餅つき体験。 摘み取ったいちごからジャムを作る。
	午後	いちごジャム作り体験	
	宿泊	公的宿泊施設「吉田元気村」	
4日目	午前	吉田特産品の加工体験	高齢者生産活動センターにおいて、ジャム作り・こんにやく作り・漬物作りの生産加工体験。 高齢者生産活動センターにおいて、ジャム作り・こんにやく作り・漬物作りの生産加工体験。
	午後	吉田特産品の加工体験	
	宿泊	公的宿泊施設「吉田元気村」	
5日目	午前	郷土文化を訪ねる 閉村式	龍勢会館(手作り農民ロケット展示)、井上传蔵邸(秩父事件資料館)見学。お別れ会。

千葉県南房総市 南房総体験活動ネットワーク協議会

<http://www.chiba-ns.net/>

問合せ先

窓口名：NPO 法人千葉自然学校
住所：千葉県南房総市富浦町多田良 1212-23
TEL：0470-33-2693 FAX：0470-33-2693
E-mail：info@chiba-ns.net

アクセス

最寄りの都市：千葉市
集合場所：南房総各エリア
車の場合：70分
鉄道の場合：80分



受入概要

「南房総体験活動ネットワーク協議会」は、南房総地域の3市1町の現在までの取り組みと機能を活かしつつ、受入を希望する学校のニーズに応えられるよう、協議会を構成する各関係機関、団体との連携を図りながら南房総地域一帯として体験活動の受入を進めるとともに、このエリアの多様な魅力を全国に向けて広報宣伝し、体験観光旅行の誘致を実現して、地域の活性化に寄与することを目的とした活動を展開している。また、子ども達が長期間の生活を共にすることで相手の立場や気持ちを考え行動し、また何事にも挫けず強く生きる前向きさをはぐくめるような「人間関係づくり」を促進するよう努めている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

房総半島の南端に位置する南房総地域は、県下最高峰の愛宕山（408m）をはじめとする300m以上の山が連なる里山の風景を背景に、波静かな東京湾と雄大な太平洋を望む3方を海に囲まれた自然美豊かな自然景観を有し、その海岸線は南房総国立公園に指定されている。

房総半島の南端に位置する南房総地域（館山市・南房総市・鴨川市・鋸南町）は、太平洋、東京湾と三方を海に囲まれ、海岸性の温暖な気候に恵まれている。無霜地域で早春の花弁栽培を始め、果樹、野菜栽培が行われ、早場米の産地としても有名。内陸部は日本の酪農発祥の地として有名で、現在も酪農が行われている。変化に富んだ海岸線一帯は、南房総国立公園に指定されており、ウミホタルの里海として知られる「鏡ヶ浦」、豊かな漁業資源を育む豊穡の海「太平洋」が広がっている。

歴史・文化的な特色

社仏閣としては日蓮上人ゆかりの清澄寺、誕生寺、日蓮寺などがあり、鎌倉幕府を開いた源頼朝再起の地である仁右衛門島、南総里見八犬伝に登場する里見氏、「見返り美人」で知られる菱川師宣など日本史上の偉人達にまつわる旧所名跡が数多く残されている。また、南房総は古くから竹材の供給地として知られ、その中でも「房州うちわ」は四国の丸亀、京都と並んで日本の三大うちわ作りの産地である。市内では、うちわ職人直伝の房州うちわ作り体験ができる。また江戸時代の終わりに房総半島から日本全国に広まったとされている「万祝」は、主に大漁時に船主や網主から関係者に配られた長着で、この万祝染めの体験ができる。

農林水産業の特色

【農業】南房総市は「日本の棚田百選」に選ばれ、東京からいちばん近い棚田としても有名な大山千枚田をはじめとする、先人から受け継がれた南房総特有の田園風景を数多く有している。これらをフィールドとした農業体験プログラムも数多く開発されている。また、江戸時代に白牛が輸入されて以来、「日本酪農発祥の地」として酪農も盛んで、各地には集乳所と呼ばれる集積所が残され南房総特有の風景となっています。これらを活かした酪農体験プログラムも開発され、体験学習受入の実績も積まれている。

【漁業】地引き網漁、定置網漁、捕鯨など豊かな海と共に生きてきた漁民と海洋文化は現代においても脈々と受け継がれ、子ども達がこれらの文化に触れる機会として漁業体験プログラムも各地域で確立されている。また千葉県立安房博物館においては、これら房総の海と生活をテーマにした海洋民俗文化を両具や船舶など豊富な展示資料を通して学習することができる。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	6	34	146	6
最大宿泊可能人数	20	1883	7473	883
料金	2000 円-	7350 円-	9000 円-	2400 円-

おすすめ体験学習プログラム

ウミホタル観察会（所要時間 60 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

ウミホタルを観察する。ボランティアスタッフが採取したウミホタルを手にとり、マリンブルーに輝くウミホタルの生態を観察する。

エコキャンドル作りと棚田の灯り（所要時間 240 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

備考：NPO法人大山千枚田保存会

【内容】

竹林の再利用と環境問題を考える体験として、竹林から竹を伐採し、ナタとノコギリを駆使して松明を作る。火種は鴨川市の旅館や食べ物屋から出た廃油を固めてロウソクを作り、夜に灯す。

海辺の自然観察&ビーチコーミング（沖ノ島無人島探検） （所要時間 150 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

備考：雨天時室内にて別メニュー実施

【内容】

自然ガイドの案内で沖ノ島の周囲の磯場に住む生物の観察をし、島の浜辺を一周しながら、ビーチに打ちあがった漂着物を観察する。

酪農体験乳搾りと哺乳（所要時間 150 分・農業体験）

【期間】

通年

備考：30名以下の場合別料金

【内容】

干草の椅子に座って牧場の仕事について話をし、牛に餌をやったり、牛について説明。牛の乳搾り体験や、子牛にミルクを与えます。時間に応じて牧場内の見学や、小動物とのふれあいがある。



海辺の自然観察

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	人と海とのかかわり	実施時期
		5月上旬～7月中旬まで 9月中旬～11月中旬まで 2月上旬～3月中旬まで
ねらい	自然に触れることで、自然の偉大さを知り、環境を大切にすることを養う。また、感じたことや想像したことや見たことを表現する力を育成する。	

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	移動 昼食（持参弁当）	
	午後	入村式 オープニングアクティビティ	オリエンテーション 仲間作り・規範作り
	宿泊	少年自然の家	
2日目	午前	地引網 昼食（獲った魚でBBQ）	岩井 or 千倉にて地引網（この2ヶ所ではBBQができない） BBQの後食休みをかねての時間 作った太巻き寿司はそのまま夕食（交流会）へ
	午後	海岸フリー散策 太巻き寿司作り	
	宿泊	民宿・農家・漁家泊	
3日目	午前	磯遊び&ビーチコーミング 昼食（八犬伝弁当）	海辺の鑑定団によるプログラム
	午後	海の体験1 選択プログラム	鱈の開き、釣り、心太作り、塩作り、イカの塩辛作り、餌付見学
	宿泊	民宿・農家・漁家泊	
4日目	午前	地域食作り 昼食（さざえカレー）	野外炊飯をかねた昼食作り
	午後	海の体験2 選択プログラム	貝殻クラフト（貝磨き・ストラップ・縄文プレスレット等）、 ビーチグラスクラフト（ランプシェード・フォトフレーム等）
	宿泊	民宿・農家・漁家泊	
5日目	午前	まとめの時間	全体を振り返り、仲間と分かち合う 今後の学校生活にどう活かしていくのか考える。